



未来の先生展
2017

主体的な学びの基礎と、 自ら学びを創り続ける子どもの姿

～協働的・問題解決的な学習と、オーストラリアの教育を比較して～

パネルディスカッション形式

開催日時

2017年 8月 27日(日) 14:20-15:50

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館3F 304教室

講演者

千葉教生(前・横浜市立深谷小学校副校長)、平野大二郎(横浜市立能見台小学校)

内容

本プログラムでは小学1年生の生活科の学習を中心に、「学校たんけん」を通しての子どもの成長と、それを支える支援を見ながら「主体的な学び」とは何か皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

また、千葉が実践してきた、「協働的な深い学び」と、平野が視察してきた「オーストラリアでの個に応じた学習」とを対比し、これからの教育のあり方について考えます。

講演やワークショップ、シンポジウムを通して、「楽しいクラス」「深い学び」「これからの学校」について共に考えましょう。

ここに注目！

- ・「1年生の6月でここまでできるの!!」という子どもの生き生きとした姿。
子どもが生活や学校たんけんの中から問題意識をもち、それを協力しながら解決していく学習になっています。
- ・このような学習を支えるための支援について提案します。入学してからまず身につけること、掛活動や当番活動との関連、たんけんの仕方やカードの書き方、イメージマップ(マインドマップ))を活用した情報の共有や学んだことの整理など。
- ・日本が考える「主体的・対話的で深い学び」とオーストラリアの教育との対比から、「日本のこれからの教育のあり方」を考えます。

団体・講演者プロフィール



千葉教生

前横浜市立深谷小学校副校長。
学習学習ソフトウェア情報教育センター
マルチメディア教材研究会 本部長、
EDUPEDIA社会人スタッフ
メディア教育研究会事務局長
主な著書「社会科授業力の開発 小学校編(明治図書)」
「学校レクリエーション大百科(ポプラ社)」(共に共著)。

平野大二郎

横浜市立能見台小学校教諭
元横浜市教育委員会指導主事
メディア教育研究会事務局長

EDUPEDIA

全国の授業案や授業動画教材などを無償提供し、
教師の仕事をサポートするWEBサービス。

参加者へのメッセージ

「生き生きとしたクラスにしたい」「互いに学びあうクラスにしたい」「子ども自ら課題をみつけ、解決できる学習にしたい」という思いをもっている先生は多いと思います。しかし、「なかなかうまくいかない・・・」と思っている方も多いのではないのでしょうか。

「子どもに学習を委ねようとする」と統制がとれなくなる・・・」「指導が通るようになったのはいいけど、そこから子どもの主体性へのつながりが難しい・・・」
ここでは、「1年生でもここまで主体的に学べるようになる」という姿を見ていただきながら、そのためにはどのような指導・支援をしたらいいのか、共に考えていきたいと思います。

先生のための教育事典
EDUPEDIA